

平成23度

近畿地方整備局研究発表会

【受賞者一覧表】
【実施報告書】

優秀賞 29課題

奨励賞 14課題

優秀賞 (29課題)

コミュニケーション・まちづくり・地域づくり部門

連番	No.	論文名	発表者 所属	氏名
1	2	歌島橋地下歩道における地域一体となった取り組み事例について(報告)	大阪国道事務所	山田 真一
2	9	“古都りん”と地域振興について	奈良県 郡山土木事務所 計画調整課	近藤 兼史
3	11	瀬田唐橋の景観検討について	滋賀県 土木交通部 流域政策局 流域治水政策室	石山 基

調査・計画・設計部門 I

連番	No.	論文名	発表者 所属	氏名
1	3	地域活性化を支援する円山川自然再生の効果検証～コウノトリの採餌環境に配慮した湿地整備～	道路部 道路管理課	神谷 毅
2	8	水系砂防事業の新たな評価手法について	河川部 河川計画課	○今村 可奈子 犬丸 潤
3	15	円山川橋における水平変位調整工法の採用について	大成建設(株) 関西支店 円山川橋工事作業所	○山崎 紀彦 弓家 猛
4	16	柏原堰堤魚道の設置について	大和川河川事務所 河川環境課	石飛 隆司
5	20	新形式防波堤の水理模型実験による構造検討について	神戸港湾空港技術調査事務所	下川 良平

調査・計画・設計部門 II

連番	No.	論文名	発表者 所属	氏名
1	6	事前通行規制区間緩和検討における航空レーザ測量の活用と今後の展望	兵庫国道事務所 管理第二課	村田 大輔
2	16	2011年春の奈良中心市街地の渋滞対策について～平城遷都1300年祭で得られた知見を活かして～	奈良県 土木部 道路建設課	井上 幸治
3	21	大型ふとんかごの滑動特性を考慮した耐震性評価に関する研究	大阪大学大学院 工学研究科地球総合工学専攻	○平山 淳基 常田 賢一
4	22	道路盛土における湿地帯の地下水調査について	福井河川国道事務所 工務第二課	古川 光里

施工・安全管理対策

連番	No.	論文名	発表者 所属	氏名
1	6	国道25号御堂筋共同溝立坑工事における上向きシールド工法による立坑築造について	大成・五洋特定建設工事共同企業体 御堂筋シールド作業所	○内田 泰彦 井櫻 潤宗
2	13	農業用管水路の急曲線部推進における課題と対策	近畿農政局 紀伊平野農業水利事業建設所 工事第三課	○平井 優也 三好 孝之
3	16	ICT技術を活用した盛土の品質管理システムの開発について	和歌山河川国道事務所 防災課 近畿技術事務所 所長	○菊池 弘 山元 弘
4	19	高透水性海底地盤における薬液注入工法	鹿島建設(株) 関西支店	○浜田 武 水田 博昭

優秀賞 (29課題)

防 災 ・ 保 全 部 門

連番	No.	論 文 名	発表者 所属	氏 名
1	1	東日本大震災への取組と近畿地方整備局が抱える課題	企画部 防災課	中井 克幸
2	9	地上デジタル放送のデータ放送を利用した防災情報の提供について	和歌山県 県土整備部 河川課 和歌山県 環境生活部	○栗 将倫 田代 匡生
3	10	防災・安全管理対策のための新技術“On Site Visualization”の現状と動向	神戸大学大学院工学研究科 市民工学専攻	茶川 真一
4	19	局地的豪雨(ゲリラ豪雨)対策おける小、中学校雨水流出抑制対策事業の計画と実施について	宇治市 建設部 雨水対策課	森 理至
5	23	洪水予警報等作成システムの導入について	企画部 情報通信技術課 河川部 河川管理課 水災害予報センター	○竹内 啓祐 大西 民男

新 技 術 ・ 新 工 法 部 門

連番	No.	論 文 名	発表者 所属	氏 名
1	5	無線センサデバイスを活用した道路管理手法について	和歌山河川国道事務所 工務第二課 京都大学大学院 工学研究科 准教授	○小野 武 西山 哲
2	12	T型のプレートを用いた壁状部材のせん断補強工法	清水建設(株) 技術研究所 社会基盤技術センター 清水建設(株) 土木技術本部 基盤技術部	○吉武 謙二 前田 敏也
3	18	簡易水位計を用いた綿密な水位観測データの取得について	大和川河川事務所 管理課	川岸 一成
4	20	画像処理による積雪センサの開発と実用状況	福井県雪対策・建設技術研究所	山崎 三知朗

行 政 サ ー ビ ス 部 門

連番	No.	論 文 名	発表者 所属	氏 名
1	4	市町村をまたぐ治水対策 ～300年以上続く治水の争いを越えて～	奈良県 土木部 河川課	熊丸 敦之
2	8	出前講座(不動産取引の基礎知識)の取り組みについて	建政部 建設産業課	堀田 徹也
3	11	行政代執行の回避に向けた取り組み	木津川上流河川事務所 管理課	森下 文洋
4	14	事業進捗管理に資する内部広報について	浪速国道事務所 調査課	上田 仁

奨励賞 (14課題)

コミュニケーション・まちづくり・地域づくり部門

連番	No.	論文名	発表者 所属	氏名
1	6	「世界無形文化遺産・雅楽を支える淀川・鶴殿のヨシ原」を住民参加で育てる	淀川河川事務所 淀川管内河川レンジャー	谷岡 寿和子
2	13	六甲山で行っている市民参画による土砂災害に強い森づくりの各種効果について	(株)総合環境計画 技術部 六甲砂防事務所 調査・品質確保課	○赤井 裕 木下 篤彦

調査・計画・設計部門 I

連番	No.	論文名	発表者 所属	氏名
1	14	河川堤防の浸透対策モニタリングデータの活用における一考察	大和川河川事務所 調査課	今井 真之
2	22	沿岸構造物の耐震性評価を安価で簡易に診断するシステムの開発について	神戸港湾空港技術調査事務所 技術開発課	○竹田 晃 河崎 尚弘

調査・計画・設計部門 II

連番	No.	論文名	発表者 所属	氏名
1	12	「姫路東ランプ」交差点の渋滞対策について	兵庫県 農政環境部 環境創造局 自然環境課	谷元 雅哉
2	15	文化財の保全と調和のとれた道路事業の実施について	奈良国道事務所 調査課 浪速国道事務所 工務課	○高良 茂宏 中口 和巳

施工・安全管理対策

連番	No.	論文名	発表者 所属	氏名
1	9	新技術をより有効に活用するために一工夫～山崎大橋側歩道橋工事における事例紹介～	姫路河川国道事務所 山崎維持出張所	平田 元気
2	12	京都国立博物館における地下収蔵庫の防水対策について	京都宮繕事務所 技術課	鈴木 かおり

防災・保全部門

連番	No.	論文名	発表者 所属	氏名
1	3	津波による底質移動が港湾施設に与える影響について	神戸港湾空港技術調査事務所 環境課	藤本 典子
2	17	Xバンドレーダを活用した土砂災害の軽減対策の検討	六甲砂防事務所 調査・品質確保課 六甲砂防事務所 所長	○木下 篤彦 岡本 敦

新技術・新工法部門

連番	No.	論文名	発表者 所属	氏名
1	3	(主)愛知川彦根線迂回路における振動対策について	滋賀県 湖東土木事務所 道路計画課	長坂 典昭
2	4	大阪国道事務所における新技術活用促進策の取り組み	大阪国道事務所 管理第二課	砂田 千佳

行政サピス部門

連番	No.	論文名	発表者 所属	氏名
1	2	洗堰レトロカフェにおけるリサイクル堆肥配布の取り組み～河川事務所と河川レンジャーの協働～	琵琶湖河川レンジャー 大和川河川事務所 管理課	○佐々木 和之 一瀬 智子
2	18	湖南中部浄化センター2号炉更新工事における入札の執行について	(財)滋賀県 下水道公社	山田 千尋

平成23年度 近畿地方整備局研究発表会 実施報告

企画部 技術調査課

7月14日(木)・15日(金)の2日間にわたって、6部門7会場145課題の研究発表が行われ、審査の結果、優秀賞29名、奨励賞14名が選ばれ表彰が執り行われました。

また、2日目の特別講演においては、『国づくりのシナリオと将来への期待—国家建設のあり方について』と題して独立法人土木研究所魚本理事長に講演を頂き、約230名が聴講されました。

今年度は、新たな取り組みとしてCPDSの登録と一日土木研究所として橋梁・土砂災害・水質に関する講演を土木研究所の研究者に講演して頂き、意見交換の場を設けることで一般参加の方も大幅に増えました。

今年も整備局職員がスタッフとなって実施し、合同庁舎会議室等を使用して開催したことにより、会場によっては聴講者があふれてしまう場合もありましたが、無事に終了することができました。

1. 部門別発表課題数 (6部門7会場 145課題)

部門名	課題数
コミュニケーション・まちづくり・地域づくり部門	17課題
調査・計画・設計部門	45課題
施工・安全管理対策部門	21課題
新技術・新工法部門	20課題
防災・保全部門	23課題
行政サービス部門	19課題

2. 機関別発表課題数

機関名	課題数
整備局	76課題
他省庁・自治体	45課題
その他(法人、民間、大学等)	24課題
計	145課題

3. 聴講者数

日時	機関	一般	整備局	自治体	関係機関	合計
14日	AM	265	245	69	22	601
	PM	104	147	39	10	300
15日	AM	131	113	33	9	286
	PM	16	97	7	3	123
合計		516	602	148	44	1310

4. 平成23年度の主な取り組み

1) (独)土木研究所の研究発表及び意見交換を開催

1日目(14日)に一日土木研究所意見交換会として、『長寿命化時代の橋梁の予防保全対策』(構造物メンテナンス研究センター橋梁構造研究グループ長桑原徹郎氏)、『大規模土砂災害等に関する調査・研究の動向』(土砂管理研究グループ火山・土石流チーム上席研究員石塚忠範氏)、『河川水質の現状と課題～プロジェクト研究に見る課題と展望～』(水環境研究グループ水質チーム上席研究員南山瑞彦氏)から最先端の研究発表が報告され、意見交換で盛り上がりました。

2) CPDS認定プログラム(今年度より)

今年度から(社)全国土木施工管理技士会連合会の継続学習制度(CPDS)に登録することにより、約250名の方に受講証明を発行し、一般参加の聴講者が昨年度より約150名の増となりました。



上総局長挨拶 風

開会式 風景



発表会場1 風景



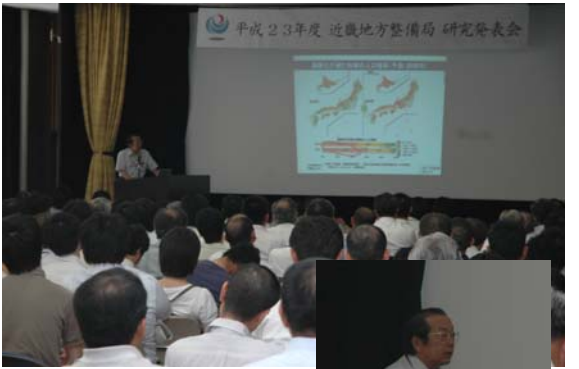
発表会場2 風景



発表会場3 風景



発表会場4 風景



特別講演 魚本健人氏



発表会場5 風景



発表会場6 風景



発表会場7 風景



展示会場 風景



大塚企画部長審査結果発表



上総局長からの表彰風景



小野副局長挨拶 風景



受賞記念写真